

〈専門領域名〉

臨床検査

専門研修プログラム名	川崎医科大学臨床検査研修プログラム																									
連携施設群 (連携施設一覧)	川崎医科大学総合医療センター																									
募集定員数	各年次 1 名	研修期間	3年間																							
専門研修プログラムの概略	1. 専門研修プログラムの内容(概略) 本研修プログラムでは、臨床検査専門医に求められる基本的な知識と技能を3年間で習得することを目指す。まず川崎医科大学附属病院で臨床検査医学総論を理解し、続いて一般検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、加えて臨床生理学の研修を行う。 研修内容としては、各種検査の見学と一部実施、骨髄像と腹部超音波検査については検査報告書作成に参加し、また医学部学生や臨床検査科実習学生の教育指導にも関わる。臨床カンファレンスやRCPCに積極的に参加する。また2年次から臨床検査医学に関する研究テーマへの取り組みを推奨する。 2年次後半から3年次前半にかけては、連携研修施設での研修となる。川崎医科大学総合医療センターにおいて臨床検査業務の総論・各論的内容を再度経験し、また検査コンサルテーション外来への参加等を通して、検査診断の実践的トレーニングを行う。最後に基幹研修施設である川崎医科大学附属病院へも出入りしながら、3年間にわたる研修ならびに研究テーマの総括を行う。																									
	2. 当専門研修プログラムの研修スケジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th><th>施設</th><th>研修内容</th><th>その他</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>川崎医科大学 附属病院</td><td>臨床検査医学総論、一般検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学</td><td></td></tr> <tr> <td>2 前半6ヶ月</td><td>川崎医科大学 附属病院</td><td>臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学（フローサイトメトリーを含む）、臨床生理学</td><td>研究開始</td></tr> <tr> <td>後半6ヶ月</td><td>川崎医科大学 総合医療センター</td><td>臨床検査医学総論、一般検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学</td><td></td></tr> <tr> <td>3 前半6ヶ月</td><td>川崎医科大学 総合医療センター</td><td>臨床免疫学・輸血学、臨床生理学 検査診断実践的トレーニング</td><td></td></tr> <tr> <td>後半6ヶ月</td><td>川崎医科大学 附属病院</td><td>各領域の研修の総括、研究のまとめ</td><td>必要に応じて両施設を往復することも可能</td></tr> </tbody> </table>			年次	施設	研修内容	その他	1	川崎医科大学 附属病院	臨床検査医学総論、一般検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学		2 前半6ヶ月	川崎医科大学 附属病院	臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学（フローサイトメトリーを含む）、臨床生理学	研究開始	後半6ヶ月	川崎医科大学 総合医療センター	臨床検査医学総論、一般検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学		3 前半6ヶ月	川崎医科大学 総合医療センター	臨床免疫学・輸血学、臨床生理学 検査診断実践的トレーニング		後半6ヶ月	川崎医科大学 附属病院	各領域の研修の総括、研究のまとめ
年次	施設	研修内容	その他																							
1	川崎医科大学 附属病院	臨床検査医学総論、一般検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学																								
2 前半6ヶ月	川崎医科大学 附属病院	臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学（フローサイトメトリーを含む）、臨床生理学	研究開始																							
後半6ヶ月	川崎医科大学 総合医療センター	臨床検査医学総論、一般検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学																								
3 前半6ヶ月	川崎医科大学 総合医療センター	臨床免疫学・輸血学、臨床生理学 検査診断実践的トレーニング																								
後半6ヶ月	川崎医科大学 附属病院	各領域の研修の総括、研究のまとめ	必要に応じて両施設を往復することも可能																							
専門医に必要な要件の概略	臨床検査専門医に求められる基本的な知識と技能の習得を目指し、3年間で本研修を修了することが、臨床検査専門医認定試験受験に必須である。 検査項目ごとにレポートや各種報告書の作成、会議やRCPCへの参加必要回数、学術活動(論文報告または学会発表3編以上)が規定されている。 詳細は臨床検査専門研修カリキュラムを参照のこと (URL: www.jslm.org/newsys/index.html)																									
プログラム統括責任者	ふりがな 氏名	きたなか あきら 北中 明	所属・役職 中央検査部・部長(教授)																							
プログラム担当者	ふりがな 氏名	きたなか あきら 北中 明	所属・役職 中央検査部・部長(教授)																							
問合せ先	Tel: (086)462-1111(代表) (内線)25515、44454 E-mail: kitanaka@med.kawasaki-m.ac.jp		(部署名) 検査診断学教室 (病態解析)																							